

経営の健全性の状況のうち流動性に係る健全性を判断するための基準に係る事項

本資料は、「銀行法施行規則（1982年大蔵省令第10号）第19条の2第1項第5号ホ等の規定に基づき、流動性に係る経営の健全性の状況について金融庁長官が別に定める事項（2015年2月27日付 金融庁告示第7号）」に基づいて作成したディスクロージャー資料です。

■ 流動性カバレッジ比率に関する定性的開示事項

- 定性的項目は原則、2019年度第4四半期を掲載しております。
- 一 時系列における流動性カバレッジ比率の変動に関する事項**

主に「適格流動資産の合計額」が減少したことなどから、連結流動性カバレッジ比率は前四半期比18.5ポイント低下の151.3%、単体流動性カバレッジ比率は前四半期比20.1ポイント低下の161.5%となりました。

また、当行の流動性カバレッジ比率は、「適格流動資産の合計額」の減少により低下傾向にありますが、過去2年間にわたって規制基準を大きく上回る水準で推移しております。
 - 二 流動性カバレッジ比率の水準の評価に関する事項**

当行の流動性カバレッジ比率は、適格流動資産の合計額が純資金流出額を大幅に上回っており、十分な水準と認識しております。
 - 三 算入可能適格流動資産の合計額の内容に関する事項**

算入可能適格流動資産については、主に円貨建の地方債や政府保証債などの有価証券及び日本銀行への預け金で構成されています。当該流動資産の通貨又は種類等の構成や所在地に、著しい変動はありません。

負債合計額の5%以上を占める通貨については円貨のみであり、算入可能適格流動資産と純資金流出額の間に着しい通貨のミスマッチはありません。
 - 四 その他流動性カバレッジ比率に関する事項**

「適格オペレーショナル預金に係る特例」及び「シナリオ法による時価変動時所要追加担保額」は適用しておりません。

また、連結流動性カバレッジ比率の算出にあたり連結子会社の取扱いについて、当該子会社が保有する適格流動資産は零、また流動負債は全額資金流出するとみなして算出しております。

■ 流動性リスクに関する開示事項

- 一 流動性に係るリスク管理の方針及び手続の概要に関する事項**

当行では、取締役会の審議機関の位置付けとして「ALM委員会」を設置し、流動性リスクの適切な把握・管理、リスク対応方針の協議等を行っております。ALM委員会での検討内容等は定例的に取締役会に報告されており、経営陣による流動性リスクの適切なコントロール態勢が構築されております。

流動性リスクの各所管部署においては、「流動性リスク管理基本規程」に定めている流動性リスクのモニタリング、評価方法に従い、日次、月次等のサイクルで流動性リスクを把握、分析し、毎月開催されるALM委員会に報告しており、流動性リスクに対し組織的に対応できる体制が整備されております。

なお当行連結子会社に係る流動性リスクについても、連結子会社の資金繰り状況を月次管理しており、連結子会社を含めたグループ全体として適正な資金流動性の確保に努めております。
- 二 流動性に係るリスク管理上の指標に関する事項**

当行では、リスク水準を4段階（平常時、注意時、警戒時、緊急時）に区分し、リスク水準ごとに流動性維持目標額を設定し、リスク水準に応じた資金繰り管理を行っております。また、オフバランス取引を含めた満期区分別の資金流入・資金流出の把握に努め、運用予定額、調達可能額など流動性の確保状況を日次で管理することにより、適切な資金繰りに努めております。加えて、資金量増減、為替決済、当行の株価等資金繰りに影響を及ぼすと想定される項目について日次でモニタリングを行っており、モニタリングの状況についてはALM委員会にて定期的に報告しております。

さらに、預金の流出、市場調達環境の悪化を想定したストレステストを実施しており、流動性リスク顕在時の対応策の検討に活用しております。
- 三 その他流動性に係るリスク管理に関する事項**

当行では、外貨調達において、効率的・安定的な資金運用を行うために調達手段の多様化及び調達先の分散を図り、流動性リスクの削減に努めております。

また、流動性危機時には別に定める「風評等リスク対応計画及び預金流出危機管理計画（コンティンジェンシープラン）」において資金繰り対応策を策定しております。

■ 単体流動性カバレッジ比率に関する定量的開示事項

(単位：百万円、%、件)

項 目		2019年度第4四半期		2019年度第3四半期	
適格流動資産					
1	適格流動資産の合計額	613,927		662,895	
資金流出額		資金流出率を乗じる前の額	資金流出率を乗じた後の額	資金流出率を乗じる前の額	資金流出率を乗じた後の額
2	リテール無担保資金調達に係る資金流出額	2,654,626	215,699	2,627,099	214,250
3	うち、安定預金の額	723,348	21,700	705,460	21,163
4	うち、準安定預金の額	1,931,277	193,998	1,921,639	193,086
5	ホールセール無担保資金調達に係る資金流出額	694,731	271,906	664,093	249,757
6	うち、適格オペレーショナル預金の額	—	—	—	—
7	うち、適格オペレーショナル預金及び負債性有価証券以外のホールセール無担保資金調達に係る資金の額	675,812	252,987	649,567	235,231
8	うち、負債性有価証券の額	18,919	18,919	14,525	14,525
9	有担保資金調達等に係る資金流出額	—		—	
10	デリバティブ取引等、資金調達プログラム及び与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	777,879	77,771	779,305	73,505
11	うち、デリバティブ取引等に係る資金流出額	20,503	20,503	15,867	15,867
12	うち、資金調達プログラムに係る資金流出額	—	—	—	—
13	うち、与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	757,375	57,268	763,437	57,638
14	資金提供義務に基づく資金流出額等	7,243	4,458	9,898	3,482
15	偶発事象に係る資金流出額	7,097	667	6,940	568
16	資金流出合計額	570,503		541,565	
資金流入額		資金流入率を乗じる前の額	資金流入率を乗じた後の額	資金流入率を乗じる前の額	資金流入率を乗じた後の額
17	有担保資金運用等に係る資金流入額	—	—	—	—
18	貸付金等の回収に係る資金流入額	246,933	139,734	241,309	138,383
19	その他資金流入額	60,785	50,853	42,845	38,238
20	資金流入合計額	307,718	190,587	284,154	176,621
単体流動性カバレッジ比率					
21	算入可能適格流動資産の合計額	613,927		662,895	
22	純資金流出額	379,916		364,943	
23	単体流動性カバレッジ比率	161.5		181.6	
24	平均値計算用データ数	58		62	

流動性に係る経営の健全性の状況

■ 連結流動性カバレッジ比率に関する定量的開示事項

(単位：百万円、%、件)

項 目		2019年度第4四半期		2019年度第3四半期	
適格流動資産					
1	適格流動資産の合計額	613,927		662,895	
資金流出額		資金流出率を乗じる前の額	資金流出率を乗じた後の額	資金流出率を乗じる前の額	資金流出率を乗じた後の額
2	リテール無担保資金調達に係る資金流出額	2,654,626	215,699	2,627,099	214,250
3	うち、安定預金の額	723,348	21,700	705,460	21,163
4	うち、準安定預金の額	1,931,277	193,998	1,921,639	193,086
5	ホールセール無担保資金調達に係る資金流出額	686,454	263,630	656,250	241,915
6	うち、適格オペレーショナル預金の額	—	—	—	—
7	うち、適格オペレーショナル預金及び負債性有価証券以外のホールセール無担保資金調達に係る資金の額	667,535	244,711	641,724	227,389
8	うち、負債性有価証券の額	18,919	18,919	14,525	14,525
9	有担保資金調達等に係る資金流出額	—		—	
10	デリバティブ取引等、資金調達プログラム及び与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	784,918	76,762	786,568	72,513
11	うち、デリバティブ取引等に係る資金流出額	20,503	20,503	15,867	15,867
12	うち、資金調達プログラムに係る資金流出額	—	—	—	—
13	うち、与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	764,414	56,258	770,700	56,646
14	資金提供義務に基づく資金流出額等	35,204	32,419	37,050	30,634
15	偶発事象に係る資金流出額	7,097	667	6,940	568
16	資金流出合計額	589,178		559,883	
資金流入額		資金流入率を乗じる前の額	資金流入率を乗じた後の額	資金流入率を乗じる前の額	資金流入率を乗じた後の額
17	有担保資金運用等に係る資金流入額	—	—	—	—
18	貸付金等の回収に係る資金流入額	239,837	132,638	234,338	131,411
19	その他資金流入額	60,782	50,850	42,843	38,236
20	資金流入合計額	300,620	183,489	277,181	169,648
連結流動性カバレッジ比率					
21	算入可能適格流動資産の合計額	613,927		662,895	
22	純資金流出額	405,689		390,235	
23	連結流動性カバレッジ比率	151.3		169.8	
24	平均値計算用データ数	58		62	

流動性に係る経営の健全性の状況